

『ESH パッシブデザインツール』の使い方や機能を 解説した動画を配信

- 基本的な使い方を解説した「使い方編」、できることを解説した「機能説明編」で構成
- ツールの特徴やシミュレーションの流れ、住宅設計における活用方法について解説

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会（以下 kkj）（会長：竹中宜雄）では、住宅の設計等に携わる実務者が、採用するパッシブデザイン手法の効果を確認し、その結果を設計内容にフィードバックできるデザインツール『ESH パッシブデザインツール』を開発し、平成29年1月より公開。kkjのホームページから無償でダウンロードできるようになっています。

このたび『ESH パッシブデザインツール』の使い方や機能を解説した動画を作成しましたので、“基礎編”としてYouTubeで配信いたします（URLは次ページ参照）。

動画は、『ESH パッシブデザインツール』の「使い方：基礎編」と「機能説明：基礎編」の2本で構成されています。

「使い方：基礎編」では、『ESH パッシブデザインツール』の入手方法、基本的なシミュレーションの手順や流れのほか、建物形状入力方法を解説しています。

「機能説明：基礎編」では、このツールでできること、建物の仕様の違いによる様々な比較、住宅設計におけるシミュレーションの流れとこのツールの使い方について解説しています。

『ESH パッシブデザインツール』は、簡単な操作で温熱環境のシミュレーションを行うことが可能で、環境共生やパッシブデザイン手法による、快適・健康・省エネな住まいづくりを行う工務店・設計事務所等に向けて開発された設計支援ツールです。

配信された動画で、このツールの特徴や使い方などをご確認いただき、設計業務にご活用いただくための一助となれば幸いです。

kkjでは、今後、地域の住宅メーカー、工務店、設計事務所などを対象として、『ESH パッシブデザインツール』の使い方を中心としたセミナー等、普及促進活動を展開してまいります。

ESH パッシブデザインツール解説動画の主な内容

■構成と内容

□使い方：基礎編

- A-1 ツールのダウンロード～インストール
- A-2 基本的な使い方とシミュレーションの手順
- A-3 SketchUp による建物形状入力（前半・後半）

□機能説明：基礎編

- B-1 『ESH パッシブデザインツール』でできること
- B-2 建物の仕様の違いによる様々な比較
 - 庇の有無・断熱仕様・蓄熱の有無・隣棟の影響
- B-3 設計の中でのシミュレーション

※5本の動画がひとまとまりになった「再生リスト」の URL (A-1~B-3 のどこからでの視聴可)
https://www.youtube.com/playlist?list=PLHnRL_pcMX_u8PKnzOemvykRg6FLNUGgZ

The collage contains the following elements:

- Top-left:** A man in a white shirt stands next to a large screen. The screen displays the ESH Passive Design Tool interface with a video player showing a tutorial. The video title is "ESHパッシブデザインツール使い方:基礎編 A1・2".
- Top-right:** A screenshot of the software interface showing a 3D model of a building with various colored sections (yellow, red, blue, purple).
- Bottom-left:** A comparison chart titled "様々な比較" (Various Comparisons). It lists five building types:
 - 000: 庇なし (No overhang), H28年基準相当 (Equivalent to H28 standard), 蓄熱なし (No thermal storage).
 - 001: 庇あり (With overhang), H28年基準相当 (Equivalent to H28 standard), 蓄熱なし (No thermal storage).
 - 002: 庇あり (With overhang), ZEH (Zero Energy Home), 蓄熱なし (No thermal storage).
 - 003: 庇あり (With overhang), ZEH (Zero Energy Home), 蓄熱あり (With thermal storage).
 - 004: 庇あり (With overhang), ZEH (Zero Energy Home), 蓄熱あり (With thermal storage), 隣棟あり (With neighboring building).
 Below the chart are icons for each type and a table of evaluation criteria:

評価指標 (Evaluation Criteria)	
室温 (Indoor temperature)	体感温度 (Perceived temperature)
設定温度超過・未満時間 (Time of temperature deviation)	床・天井表面温度 (Floor/ceiling surface temperature)
暖冷房負荷 (Heating/cooling load)	
- Bottom-right:** Two graphs showing simulation results. The left graph shows temperature (室温) over time, and the right graph shows energy load (エネルギー負荷) over time. Both graphs compare different building types.

【この件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会 (kkj)
 事務局：長谷川
 Tel：03-6265-3242
 Fax：03-6265-3243
 E-mail：passive@kkj.or.jp